

第3回磐田の未来を語る会 懇談記録

日時：令和3年12月10日（金）

午後7時～8時30分

場所：ワークピア磐田第1会議室

1. 市長あいさつ

- ・市議会議員を務めた8年間は、あちこちを訪問して多くの市民の皆さんと「対話」をすることができましたが、市長に就任してからの約9カ月間は、新型コロナウイルス感染症への対応や市役所内部のマネジメントをしっかりやる必要があり、直接市民の皆さんと対話をする機会が少なかったです。
- ・私の原点は市民の皆さんからダイレクトに声を聞く「対話」だと思っています。本日はお越しいただいた10人のそれぞれ違う考え方や価値観に触れながら、市政の課題を共有したいと思います。
- ・先日、高校生から政策提案をいただき事業がありました。その提案の内容が、高校を卒業してから随分経つ私にとっては、決して出てこない発想でした。本日もお越しいただいた皆さんのそれぞれの立場、目線、考え方をぜひお聞かせください。
- ・1時間30分という貴重な時間をいただきましたので、懇談が終わった後に、皆さん「笑顔」で終われるようにしたいと思います。本日はよろしくお祈りします。

2. 参加者の質問・意見

【60代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none">・JR 磐田駅前の軽トラ市には多くの方が訪れます。「まちに来よう」という、きっかけがあれば人はたくさん集まると思います。・趣味で自転車に乗りますが、磐田のまちは「坂」が多いと感じます。この「坂」を利用して、「この坂面白いな」、「この坂はとてもきつい」など自転車通学をしている中学生・高校生から意見を聞いて「磐田の坂」について情報発信すれば、自転車に乗る人や歩く人などが磐田に来てくれると思います。・「磐田で一番きつい坂はどこだ」とか坂の角度を示したりすることも面白いと感じます。	<ul style="list-style-type: none">・体育協会に勤めていた時に、坂道ダッシュなどスポーツの練習に役立つのではと「急な坂ランキング」をやったらどうかと考えたことがありました。・以前、ジュビロマラソンの事務局長を務めていました。以前の大会は「ゆめりあ」がゴールだったので、コースの最後でゆめりあの坂を登ります。「坂をやめてほしい」という声もある中で、「心臓破りの坂です」「マラソン大会で一番きつい坂です」とPRしたら、逆に喜んでいただいた経験があります。・物事の発想や着眼点を変えるということはとても大事だと思います。・「坂に名前をつけてしまう」というご提案、ありがとうございます。

【50代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーコーチをしています。スポーツを遊びと捉え、一緒に楽しみながら活動しています。 ・今は、サッカーを中心として、幼稚園、保育園への運動遊びの指導をしながら「親子の運動遊び」に着目した活動をしています。 ・年々、子どもたちの体力が低下しており、その理由は、環境や私たち大人の課題であるところも大きいと感じているので、「親子で遊ぶ」ということに注目しています。 ・磐田市の成人のスポーツ実施率は全国や静岡県平均よりも低いです。課題は30代～40代の子育て世代だと言われています。 ・「スポーツをやる時間がない」と言いますが時間は作ることができます。子どもと親と一緒に遊ぶことでスポーツ実施率を上げていきたいと考えていますので市に協力したいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド総合研究所が実施する「スポーツのまち」として思い浮かぶ市町村ランキングで磐田市が1位に選ばれました。とてもありがたいですが、これは他市町村の方々の評価で、これで満足はしていません。 ・磐田市民がスポーツに触れたり体を動かす機会を増やしたりして、子どもたちの運動能力が高まるような施策をやっていかなくてはと考えています。 ・市民が「うちのまちはみんな運動しているよね」と自信をもって言えるようなまちにしたいです。 ・部活動の課題や親の環境によって子どもたちがスポーツに触れることができる機会は変わると思います。地域や民間の皆さんのご協力をいただき、持続的に活動できる体制づくりを一緒に考えていきたいと思っています。

【50代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・私が住む地区は過疎化が進み、子育て世代の減少と高齢化が進んでいます。 ・磐田市や自分たちの住む地域を明るいものにするためには、人と人とのコミュニケーションが通っていて、緊急な時に市民全体の気持ちを一つにできるまちにしていくことが大切だと思います。 ・向こう三軒両隣、隣近所、お互い様という気持ちが世間から忘れられているような気がします。市民一人一人の意識改革が必要だと思います。 ・それぞれの人が様々なことに関心を持ち、気にかけて、1日1回は大きな声で笑うこと、頑張っている自分を褒めてあげることも大切です。 ・コロナが蔓延する世の中だからこそ、住民が一丸となって、小さなことからコツコツと、一日一善の精神でよいことを積み上げ、横の手をつなぎ、「居場所」を創りあげていけるように一人一人が意識していかなければいけないと思います。 ・先日の花火は、磐田を明るくしていく起爆材料、まさに「元氣玉」だったと感じます。磐田市民の気持ちが一つになったような気がしました。大成功だったと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先日行われた「いわたの夜空に元氣玉花火」は、自分自身もあそこまで感動するとは思っていませんでした。想像以上でした。 ・磐田市商工会や磐田商工会議所が花火大会会場へ行かなくても、市内あちこちで花火を見ることができるよう企画してくれました。本当にいい事業だったと思います。 ・「居場所」というキーワードが出てきましたが、私が理想とするのは、家と職場または家と学校以外に、もう一つ市民の皆さんには「居場所」を作ってもらいたいと思っています。 ・「サードプレイス」、「第3の場所」という言い方をしていますが、子どもはスポーツ少年団でスポーツをすることもいいですし、親御さんはお子さんが通うスポーツ少年団のコーチでもいいし、何でもいいです。家と仕事以外、学校と学校以外での居場所が誰にでも揃っていたり、選択肢がたくさんあったりする磐田市にしていきたいです。 ・「居場所」を作ってくれる市民を応援したり、後押ししたりしていきたいです。

【40代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・心身障害児を養育しており、共働きで市内企業に勤めていますが、通院先や毎日通う袋井特別支援学校がそれぞれ市外で、負担・不安が大きいです。 ・袋井特別支援学校に通う生徒の半数は磐田市民で、通学負担も大きく、生徒の急増により定員オーバーであると県教育長が発言された新聞記事も拝見しました。 ・窓口で質問や問い合わせに答えていただけないことも多いと感じます。即答や即時解決して欲しいわけではありません。養育されている先輩の実例や将来的な制度、それぞれの選択のメリットやデメリットなど先を見通すことができる情報が得られるように各支援機関と連携してほしいです。 ・高齢者施設はたくさんありますが、障がい者施設は増えていません。特別支援学校卒業後、40年間は短期であっても預け先がないのが現状です。 ・障がいのあるなしや年齢に関係なく、移動負担の少ない地元で、相応の福祉が受けられるのが当たり前になれば、安心して磐田で育てていこう、生きていこうという人も増えると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃっていただいたことは、全く同感です。市長の任期中にやれることをやっていきたいという気持ちです。 ・特別支援学校は県立となりますが、県教育委員会の教育長が議会で「さらなる対応が必要」と答弁していただいているので、市としても今後も県と連携していきたいと思います。 ・障がいのあるお子さんに対する現場の資源が足りないと感じており、課題だと認識していますので、今後、増やしていくことができるよう取り組んでいきます。 ・「保護者に寄り添っていく」という職員の姿勢の課題については、高齢者支援についても、子育てについても全てにあてはまると思います。職員と丁寧に対話しながら、取り組んでいきます。

【40代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・市政については、子育てに関する希望、期待が高いです。今後、子育て・教育・医療の体制について充実させてほしいと願っています。 ・思うところがあって20年間務めた会社を退社して、転職活動をし、再就職が決まりました。ゆっくり考える時間があつた中で、「安心できる社会」であってほしいと強く思いました。 ・転職活動中は不安でした。コロナの影響で様々な状況に追い詰められている人もいるのではと感じました。 ・病気になったら病院、本を読みたかったら図書館、子どもと遊びたかったら公園、至極当たり前ですが、最近の世の中の傾向では「心に不調を感じたら相談できる場所」があるといいと感じます。 ・子育て世帯への臨時特別給付金は、10万円の現金給付がありがたいです。 ・長期休み中の学童について、朝8時からですが、8時出勤の方に配慮した時間帯も検討して欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「安心できる社会であってほしい」ということは、全くその通りだと感じていて、私は「安心できる磐田市にしていきたい」というキーワードを核にしています。 ・「安心」の裏返しは「不安」なので、不安にさせないまちにしていきたいです。 ・私も、東京の会社を辞めて磐田へ帰ってきた時と、昨年、市議会議員を辞めてから市長に就任するまで二度ほど無職の時期があり、とても不安でした。この経験を強みにして、不安を感じている市民の気持ちに寄り添った取り組みをしたいと思います。 ・放課後児童クラブの時間帯などについても、様々なご意見をいただいていますので、どういったルールがいいのか考えたいと思います。

【40代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・これから磐田にずっと住んでいくので、私も「磐田に人を集めたい、磐田に人がたくさん来てほしい」と思います。 ・きっかけがあれば磐田に人がくると思います。大事なことは「人が集う場所をつくる」「人のつながりをつくる」「笑顔をつくる」だと思います。 ・人が集う場所を考えた時に、向陽学府ができることによって岩田小学校の跡地を活かして人が集まるような仕掛けをしたいです。 ・岩田小学校跡地では、サッカー合宿や職人が集まる教室、工房、海老芋などの農業を絡めたり、グランピングやキャンプをしたりすることなども面白いと思います。 ・人間関係が希薄に感じる社会の中で、地域の子どもを地域で育てるために「人とつながるといことは大事だよ」と伝えていきたいです。 ・人が集まるには、家が建たないと来ないと思います。農地転用など土地活用についても検討して欲しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、岩田小学校の6年生の授業で話をさせていただいた時に、子どもたちから「学校がなくなるのは仕方ないと思っているけれど、思い出の場所だけは残しておいて欲しい」という声を直接聞いたので、いい活用方法を考えていきたいです。 ・学校の統合については、規模が大きければいいということではありませんが、人数が少ないことは様々な課題があると考えています。小学校6年間ずっと1クラスでいいのかということなどです。 ・向陽学府内の自治会からは要望もいただいていますので、向陽学府一体校という方向に動いています。 ・跡地利用については、スポーツや農業、グランピングも含めて地域の拠点になるということは大事だと思います。これから地域の皆さんへ相談していく時には、自治会の皆さんはもちろん、子育て世代の方や子どもたちなど次の時代に暮らす若者や親世代の声もしっかりと聞いていきたいと思います。

【30代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアをしながら日本一周(=各地を訪問)をしています。先日、長崎の対馬に行ってきましたが、海岸のゴミが非常に多かったです。 ・自分にできることはゴミ拾いくらいしかありませんが、何かリサイクルできればいいなと考えて海洋プラスチックゴミをアクセサリーにする取り組みをしています。 ・磐田に生まれて、磐田で育って、何か恩返しをしたいと考えていて、様々な人と出会って話すことができると考えて活動しています。 ・子どもたちは大人の姿を見て成長します。そのためには、大人が「キラキラ」していることが大事だと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大人がキラキラしていないといけない」ということは全くその通りで、私も講演会などでは、「とにかく、親が家に帰って『疲れた、疲れた』っていうものではないです」と伝えていきます。親が疲れたというと、子どもが社会に出た時に、「大人は疲れるものだ」と刷り込まれてしまいます。 ・私も以前、天竜川のゴミ拾い活動を続けていました。SDGsの考え方は、子どもたちの方が圧倒的に問題意識を持っていて、我々大人が真剣に取り組まなければ、子どもたちに失望されてしまいます。SDGs、環境、エコというキーワードなど、持続可能な社会づくりに向けてできることを民間の力も借りながら取り組んでいきたいと思っています。

【20代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・私はブラジル国籍です。日本で生まれ育って、一時期はブラジルにいましたが、磐田で育ちました。日本語とポルトガル語の両方を話すことができます。 ・ボランティアで外国ルーツの子どもたちと話す機会や勉強を教える機会がありましたが、日本語で話しかけるとうまく返せないのが、ポルトガル語に切り替えて質問してみると、少し的外れの答えが返ってくる場合があります。その子には特別な支援が必要なのか、障がいがあるのかと考えてしまいますが、実は「ダブルリミテッド（＝二か国語以上話すことができるが、どの言語も適切なレベルに達していない状態）」という現象です。 ・市として何ができるかということをおもひに考えたいですが、先ほども話にでて「サードプレイス」、様々な居場所が交流センターや学校跡地にできるといいと思います。 ・市民の皆さんにも外国人のことをもっと知っていただき、近所の外国の方を見かけたら挨拶をしてみたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会議員の時から、様々な場面で意見交換を続けてきましたので、ブラジル人の方の現状と課題については共有させていただいています。 ・私が小学生の時には同級生に外国籍の子がいて、夜勤明けで返ってきたブラジル人のお兄さんたちと一緒にサッカーを教えてもらいました。子どもの時は考えることはなかったですが、今思えば、「あの方たちの暮らしはどうだったのか、あの時の同級生は、今何をしているのだろうか」と思います。 ・同じ地域・コミュニティーの中で暮らしているので、お互いに理解していくことが大切だと思います。 ・新型コロナウイルス感染症の対応で、医療に関しては日本人も外国籍の方も同じ資源を使います。外国籍の方も日本のコミュニティーの中にしっかり関わっていただき、感染防止対策などをしっかりしていただきたいと改めて感じました。 ・コロナを機に、多文化共生という視点では今まで以上に進めていく必要があると、県西部の首長は共通認識を持っています。

【20代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・出身が県外で、大学進学を機に県内に、就職で磐田にきました。 ・電車に乗って、磐田駅に降りた最初の印象は「残念、もったいないな」という印象でした。 ・新駅ができると聞いて御厨駅周辺に住むことにしましたが、駅周辺が充実している印象はまだありません。 ・市外の人に「磐田に住んでいる」と話をすると、必ず「ジュビロ」の話がでるので、ヤマハスタジアム周辺、御厨駅周辺をもっと盛り上げてほしいと思います。 ・機械設計の仕事をしていて、交通や乗り物に興味があります。磐田のように車移動がメインの生活をしているまちでは、高齢者の車移動（運転）の課題もあると思います。 ・「交通」を考えることは「まち」そのものを考えることだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私は「人が集まるまちにしたい」と言っていますが、やはり市外の方が磐田に来てくれた時に、「磐田はいいな」と思って欲しいので、外から見た磐田の視点についてのご意見はありがたいです。 ・磐田駅、御厨駅についても「もったいない」というキーワードは心にささります。土地は民間の土地ですので、民間が開発したいという時に、支援することができるよう、企業の皆さんと対話を重ねていきたいです。 ・車からの転換、「交通や移動を考えることは『まち』そのものを考えること」というご提案については、行政の縦割りを超えて、しっかりとランドデザイン（全体構想）を考えていきたいです。

【20代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術に関する仕事をしています。磐田市全体で文化芸術を創ることを促して、次世代の若者が参加できるような組織を作り、アーティスト、企業、技術者、市民、学生などが芸術を通してつながりたいです。 ・今まで芸術を鑑賞する側だった方を「創造する側、創る側」に引き寄せたいです。一つの芸術を創るのに、あらゆる人間が関わるという環境を作りたいです。 ・「適材適所」という言葉は芸術にもあてはまり、「着想、デザイン・制作、金銭的支援、展示・鑑賞、販売」など自分の得意分野を活かして文化芸術の創造に関わることができれば、磐田市の魅力が増し、磐田に住み続ける理由になると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術分野に新しい人が活躍できる環境があるといいと感じます。 ・「アート」という視点で、何か新しい「仕掛け」ができないかと感じました。 ・志高く活動したいという気持ちは大変ありがたいと思います。

(全員の発言が終了したので、時間が許す限り、意見交換)

【40代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・ジュビロ磐田が大好きでずっと応援してきました。今年の結果（J1昇格・J2優勝）は盛り上がりましたが、昨年は、試合結果すら知らない市民もいたのではと感じ、まだまだ盛り上がり欠けると感じます。 ・先進クラブチームを参考にして、ヤマハスタジアムで試合がない日にもスタジアムを活かした人が集まる仕掛けができないかと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私もジュビロ磐田は大好きです。磐田市では「ジュビロ磐田」を抜きには語れないと思います。 ・ジュビロ磐田の方々とも意見交換する機会もありますので、ご意見を参考にさせていただきます。

【50代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・磐田市にはデマンドタクシーもありますが、以前行っていた巡回バスのようなものが復活できないかと思っています。 ・大きなスーパーなどの商工業者がマイクロバスなどを出して、地域を巡回しながら、自分たちのお店にも回るような取り組みも面白いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者や住民の意見を伺いながら大切な税金をどういった形で使うことがいいのか考えていきます。 ・朝夕の通勤バスを日中は地域巡回バスに転換する取り組みや地域の皆さんが自分たちで運行するボランティア運送など先進地の取り組みも引き続き研究していきます。 ・デマンドタクシーについても、様々な声をいただきますので、創意工夫しながら取り組んでいきます。

【40代】

質問・意見	市長コメント
<ul style="list-style-type: none">・メールなどで自分が欲しい情報のカテゴリを選んで情報をもらいますが、「子ども向け情報」を選択した場合、「妊娠中のパパママ向け」、「幼児向け」、「小学校のパパママ向け」、「高校生向け」など全ての情報が来ますので、成長に合わせた情報発信（カテゴリで詳細に選択できるように）してほしいです。	<ul style="list-style-type: none">・改善できるところから対応していきたいと思えます。